

島根大学 人類の課題を解決する科学技術人材育成プログラム —島根で学びブレイクスルーを起こせ！—

●育成したい人材像

- ・地方創生人材（島根の活性化を担う）
 - ◎地域の課題を多角的かつグローバルな視点から把握・考察し、解決への道を拓く
 - ◎地域課題解決の成果を世界に発信し人類に貢献できる
- ・科学技術人材（人類の課題解決のためのブレイクスルーを起こす）
 - ◎課題を発見し、論理的に解決できる
 - ◎情報収集・発信能力がある
 - ◎協調性を持ちつつ、粘り強く、主体的に世界で活動できる

●背景（問題意識）

- ・島根県における社会減による深刻な人口減少
- ・理系人材の必要性和島根発科学技術人材育成の取組との連動
- ・知的探求心優先の進学を選択するキャリアデザイン推奨

●企画の主な特徴

地域課題解決の成果を世界に発信し人類の課題の解決への道を拓く「地方創生・科学技術人材」育成プログラム

- ・3段階の育成プログラム：【研究への誘い】【研究の萌芽】【研究実践の喜び】により研究の「楽しさ」を実感できる
- ・企業見学会への島根県及び地元企業の積極的な協力
- ・オックスフォード大学特別講義への参加
- ・高大接続システムによる入試制度との共通した理念（学力の三要素の伸長）
- ・受講生のライフデザインの一助となるような研究者との交流の機会を用意

●企画の主体組織

島根大学大学院自然科学研究科

●連携機関

島根県教育委員会、島根県、島根県高等学校理科教育協議会、島根県公立高等学校校長協会、島根県私立中学高等学校連盟、松江市教育委員会、日立金属株式会社、株式会社山陰中央新報社

●企画の最終目標

島根大学における地方創生人材・科学技術人材の育成モデルの確立と改善
本企画の継続性の確保（学内中核組織やコンソーシアムの維持・運営）
人類の課題を解決するブレイクスルーの研究者を輩出

人類の課題を解決する【地方創生人材】【科学技術人材】を育成・輩出

研究発表会

島根大学GSC 研究実践の喜び

世界の研究レベルを見据え、研究成果をアウトプットする経験をさせる

多様な研究分野

食品化学 生物制御学 神経生理学 生物物理学 共生進化学 地球科学 金属工学
応用微生物学 理論生態学 生物分子学 遺伝育種科学 園芸科学 環境DNA学
機能材料学 応用物性学 環境水理学 汽水域学

希望する研究室に分かれて専門知識・技術の獲得
研究実施, 学会発表準備, 論文執筆

2年目
3月

この機会などの進歩・成果発表の機会などを動かし、この期間の延長を認める

マッチング

12月

二次選抜(15名) 研究テーマ案のプレゼン

島根大学GSC 研究の萌芽

生徒の個別の関心事に寄り添い、研究室での先進研究を体験させ、専門教育を行う

専門分野：基礎分野(大学1年生レベル)と応用分野(大学2年生レベル)
外国人教員が教える英語プレゼンの演習授業、オックスフォード大学特別講義
コンソーシアムメンバーの企業研究所の見学ツアー等

プレマッチング

7月

一次選抜(40名) レポート課題

島根大学GSC 研究への誘い

科学技術人材に必要な基礎教養を学ばせ、研究の楽しさを伝える

#研究と倫理 #科学史 #アントレプレナー #数理・データサイエンス #SDGs

1年目
5月

受講生募集(50名) 島根県内の高校生を中心に募集
(知的好奇心・探究心を尊重し、情熱ある人材を募集)